

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6358 URL <https://www.sakainet.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）酒井 一郎
問合せ先責任者 （役職名）執行役員管理部長 （氏名）吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401
四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年3月期第3四半期	15,374	△13.1	403	△59.9	312	△65.8	△285	—
2020年3月期第3四半期	17,688	△5.0	1,005	△16.7	913	△13.0	516	△12.6

（注）包括利益 2021年3月期第3四半期 △57百万円（－％） 2020年3月期第3四半期 552百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△66.33	—
2020年3月期第3四半期	120.81	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年3月期第3四半期	34,477	21,578	62.5
2020年3月期	35,448	21,919	61.7

（参考）自己資本 2021年3月期第3四半期 21,538百万円 2020年3月期 21,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	21,000	△7.7	550	△42.7	350	△57.8	△300	△69.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	4,338,417株	2020年3月期	4,311,917株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	25,533株	2020年3月期	25,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,299,796株	2020年3月期3Q	4,274,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結地域区分別売上高表

	当第3四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日		前第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		増 減	
区 分	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	9,553	62.1	10,586	59.8	△1,032	△9.8
海 外	5,820	37.9	7,102	40.2	△1,282	△18.0
北 米	1,976	12.9	2,612	14.8	△636	△24.3
アジア	3,538	23.0	3,621	20.4	△83	△2.3
中近東・ロシアCIS	6	0.0	522	3.0	△515	△98.7
その他	298	2.0	345	2.0	△47	△13.7
合 計	15,374	100.0	17,688	100.0	△2,314	△13.1

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う地球規模の行動制限と経済停滞が続く中、W i t h コロナを前提とした新常态の行動様式が定着し、デジタル技術の社会実装が進みました。

また世界秩序をめぐる社会の分断、地球温暖化による自然災害の甚大化、新自由主義とグローバル化による経済格差の深刻化に対して、世界規模で社会的価値観の変容が進み、E S GやS D G s、ステークホルダー資本主義など、企業活動に対しても幅広い社会的責任が求められるようになって参りました。

更には気候変動対策として、世界主要国がカーボンニュートラル政策を一斉に打出したことから、化石燃料からの決別という現代社会の壮大なパラダイムシフトが始まりました。

このような事業環境の下で当企業グループでは、デジタル技術を活用した事業活動のデジタルトランスフォーメーション（D X）と本業の社会資本整備を通じたS D G s課題への取組みを積極化するとともに、引き続き「変化を大前提とした事業経営」と「海外事業と次世代事業による中長期成長戦略」を進めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内事業が堅調に推移する一方で海外事業の停滞が続き、前年同期比13.1%減の153億7千万円となりました。

営業利益は売上高の減少に伴い、前年同期比59.9%減の4億円、経常利益は同65.8%減の3億1千万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、北米事業子会社において繰延税金資産3億7千万円の取り崩し処理を行いました結果、2億8千万円の損失となりました。

連結地域区分別売上高状況につきましては、次のとおりであります。

国内向け売上高は、堅調な公共工事執行を背景として販売が底堅く推移致しました結果、前年同期比9.8%減の95億5千万円となりました。

海外向け売上高は、感染症によるまだら模様の市場情勢が続き、前年同期比18.0%減の58億2千万円となりました。

北米向け売上高は、住宅建設投資及び道路建設投資が拡大する中で需要停滞が続き、前年同期比24.3%減の19億7千万円となりました。

アジア向け売上高は、タイ、ベトナム、韓国市場が回復基調に推移する中で、主力のインドネシア市場の停滞が続き、前年同期比2.3%減の35億3千万円となりました。

中近東・ロシアC I S向け売上高は、営業活動が停滞し、前年同期比98.7%減の6百万円となりました。

その他市場向け売上高は、中南米市場が回復基調に推移したものの、大洋州、アフリカ市場が振るわず、前年同期比13.7%減の2億9千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総 売 上 高	百万円 13,241	百万円 14,896	百万円 △1,654	% △11.1
	営 業 利 益	499	810	△310	△38.4
米 国	総 売 上 高	1,999	2,633	△633	△24.1
	営 業 利 益	△68	△76	7	△9.9
インドネシア	総 売 上 高	2,027	2,638	△611	△23.2
	営 業 利 益	△1	12	△14	—
中 国	総 売 上 高	582	857	△274	△32.1
	営 業 利 益	△54	20	△75	—
調 整 額	総 売 上 高	△2,476	△3,336	860	—
	営 業 利 益	29	238	△208	—
連 結	総 売 上 高	15,374	17,688	△2,314	△13.1
	営 業 利 益	403	1,005	△601	△59.9

日本

国内向け販売が堅調に推移致しましたものの、海外工場向け部品輸出の停滞が続き、総売上高は前年同期比11.1%減の132億4千万円、営業利益は同38.4%減の4億9千万円となりました。

海外

米国では、建設投資が拡大する中で建機需要の停滞が続き、総売上高は前年同期比24.1%減の19億9千万円、営業利益は若干改善して6千万円の損失となりました。

インドネシアでは、第三国向け輸出が約3割増加する一方、感染拡大により国内販売が約7割減少致しました結果、総売上高は前年同期比23.2%減の20億2千万円、営業利益は1百万円の損失となりました。

中国では、米中事業デカップリング方針の下、国内販売を約3割伸ばしましたものの、北米向け輸出とグループ工場向け部品輸出の減少をカバー出来ず、総売上高は前年同期比32.1%減の5億8千万円、営業利益は5千万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析は、次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ9億7千万円減少し、344億7千万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が12億5千万円増加し、現金及び預金が9億7千万円減少、たな卸資産が13億4千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ10億8千万円減少し、225億円となりました。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億1千万円増加し、119億7千万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が1億2千万円減少、未払法人税等が2億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億9千万円減少し、107億5千万円となりました。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6千万円増加し、21億4千万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が4億1千万円増加し、利益剰余金が6億2千万円減少、為替換算調整勘定が1億8千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億4千万円減少し、215億7千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加し、62.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後国内では、総額15兆円の防災・減災、国土強靱化の為に5か年加速化対策を背景として、堅調な事業環境が続くものと期待されます。

海外では、経済活動が徐々に再開に向かうとともに、各国でインフラ投資や金融緩和による経済対策が始まりましたので、海外事業も緩やかな回復に向かうものと期待されます。

技術面では、社会資本整備のデジタル化やスマート化、更にはカーボンニュートラルに向けた省エネルギー化や電動化など、新技術活用による次世代事業ニーズが益々高まる見通しです。

このような世界情勢の大転換期の中で当企業グループでは、DXによるビジネスモデルの革新とSDGsや脱炭素に関わる社会的課題への取組みを積極化すると共に、引き続き需要変化対応力の強化、米中分断に伴う米国事業と中国事業の収益構造改革、アジア市場深耕と北米市場展開、新技術活用による次世代事業の開発、活力ある企業文化づくりなど、新たな事業環境における成長基盤を固めて参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,755,441	5,784,145
受取手形及び売掛金	6,251,988	7,510,919
商品及び製品	4,922,324	4,304,511
仕掛品	1,434,719	1,218,348
原材料及び貯蔵品	3,196,267	2,682,102
その他	1,025,624	1,004,699
流動資産合計	23,586,366	22,504,727
固定資産		
有形固定資産	6,816,715	6,752,198
無形固定資産	613,745	603,435
投資その他の資産		
投資有価証券	2,695,310	3,285,615
その他	1,736,190	1,331,171
投資その他の資産合計	4,431,500	4,616,786
固定資産合計	11,861,961	11,972,420
資産合計	35,448,327	34,477,147
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,858,381	4,732,648
短期借入金	4,628,906	4,660,222
未払法人税等	332,068	124,309
引当金	165,950	150,615
その他	1,470,012	1,089,888
流動負債合計	11,455,319	10,757,684
固定負債		
長期借入金	1,232,620	1,085,188
退職給付に係る負債	137,169	137,066
その他	703,238	918,337
固定負債合計	2,073,027	2,140,591
負債合計	13,528,346	12,898,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,191,658	3,221,868
資本剰余金	6,437,601	6,467,811
利益剰余金	11,109,401	10,480,467
自己株式	△61,846	△62,424
株主資本合計	20,676,814	20,107,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079,061	1,491,050
為替換算調整勘定	118,860	△62,199
退職給付に係る調整累計額	2,387	1,726
その他の包括利益累計額合計	1,200,309	1,430,577
非支配株主持分	42,857	40,571
純資産合計	21,919,981	21,578,871
負債純資産合計	35,448,327	34,477,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	17,688,819	15,374,012
売上原価	12,933,711	11,507,205
売上総利益	4,755,108	3,866,807
販売費及び一般管理費		
運搬費	286,235	238,400
給料及び賞与	1,574,352	1,479,780
技術研究費	547,518	561,539
その他	1,341,733	1,183,723
販売費及び一般管理費合計	3,749,839	3,463,444
営業利益	1,005,268	403,363
営業外収益		
受取利息	2,348	5,995
受取配当金	109,088	125,356
その他	27,172	7,971
営業外収益合計	138,610	139,323
営業外費用		
支払利息	130,791	105,623
金融手数料	52,429	48,730
為替差損	40,810	68,124
その他	6,060	7,720
営業外費用合計	230,091	230,198
経常利益	913,787	312,488
特別利益		
固定資産売却益	2,562	44,884
投資有価証券売却益	—	17
特別利益合計	2,562	44,902
特別損失		
固定資産処分損	—	472
特別損失合計	—	472
税金等調整前四半期純利益	916,349	356,918
法人税等	398,662	642,927
四半期純利益又は四半期純損失(△)	517,687	△286,008
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,246	△796
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	516,440	△285,211

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	517,687	△286,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192,433	411,989
為替換算調整勘定	△156,919	△182,549
退職給付に係る調整額	△485	△661
その他の包括利益合計	35,027	228,778
四半期包括利益	552,715	△57,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	552,664	△54,937
非支配株主に係る四半期包括利益	50	△2,292

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。